

## 予 算 要 求 資 料

令和 4 年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：学校健康教育費

### 事業名 学校安全支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校安全課 学校安全係 電話番号：058-272-1111 (内 3145)

E-mail：[c17770@pref.gifu.lg.jp](mailto:c17770@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 1,682 千円 (前年度予算額：1,710 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,710	0	0	0	0	0	0	0	1,710
要求額	1,682	0	0	0	0	0	0	0	1,682
決定額	1,682	0	0	0	0	0	0	0	1,682

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

近年の大地震や自然災害に対する危機意識は、今や国民全体に浸透している。学校においても、児童生徒への災害安全に関する教育や、学校の安全管理及び防災体制の強化・充実が喫緊の課題となっている。

また登下校中の児童生徒が、不審者に声をかけられたり、交通事故に巻き込まれたりといった事案も後を絶たず、防犯意識の向上を含む生活安全教育・交通安全教育の充実も必要となる。

これらの課題を解決するため、児童生徒に対して、自らの命を守り抜くための安全教育を強化するとともに、危機管理マニュアル等の改善、地域・保護者・関係機関との連携体制の構築など、学校の安全管理の充実を図ることが重要となる。

このため、学校における安全教育・管理について、学校外の専門家による指導・助言等を得ることや学校における指導内容に関する講習会を開催すること、職員の安全管理についてのスキルアップを図る研修を開催することにより、その充実を図っていく。

## (2) 事業内容

### ① 指導者派遣

学校に派遣された外部講師が、防災や防犯、交通安全の各分野について、自分の命を自分で守るための方策等を指導・助言する。

- ・外部講師は、防災士、清流の国ぎふ防災・減災センター専門家、東京海上日動火災保険代理店担当者等に依頼。

### ② 学校安全講習会

専門家による講話、国からの周知事項、各校の先進的取り組みの紹介等

### ③ 表彰関係

学校安全教育に対する先進的かつ継続的な取組を表彰（内閣総理大臣表彰・文部科学大臣表彰）するため、審査会にて審議するもの。

## (3) 県負担・補助率の考え方

- ・県 10/10

## (4) 類似事業の有無

- ・無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,082	指導者謝金
旅費	523	指導者旅費 有識者旅費
需用費	72	消耗品費
役務費	5	役務費
合計	1,682	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県強靱化計画「5章3(10) リスクコミュニケーション／防災教育・人材育成 ～自助・共助の底上げ～」
- ・第3次岐阜県教育ビジョン  
基本方針5 学びを支援する安全・安心な教育環境づくり  
目標27 子どもたちの安全・安心の確保と危機管理体制の充実

### (2) 後年度の財政負担

児童生徒の命を守る学校安全の根幹に位置付く事業であり、県負担で継続していくことは妥当である。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 自らの命を守りきる「自助」の実践と、地域住民が共に助け合う「共助」の活動等を強力に推進し、災害や事故、犯罪による死者・被害の減少を目指す。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H24)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
						74.8%
命を守る訓練を年間3回以上実施する学校の割合	55.8%	74.8%	100%	100%	100%	74.8%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。 学校が実施する訓練等に対して、学校外の専門家が指導・助言することで、学校や地域の実情に応じた見直しを図られ、より実効的な防災・防犯・交通安全に対する体制整備の充実が図られた。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断）  <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>自然災害や交通事故等で命を落とすことがないよう、児童生徒が主体的に行動する力を身に付けていくための安全教育及び安全管理を充実していくことは、社会的な要請が高い。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）  <small>3：期待以上の成果あり                  2：期待どおりの成果あり                  1：期待どおりの成果が得られていない                  0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>防災教育を中心に、防災・防犯・交通安全に対する学校の体制が整えられていくことは、児童生徒が主体的に行動する力を身に付けることにつながっている。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）  <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>防災・防犯・交通安全に対する取組に対して、学校へ専門家を派遣し、児童生徒への指導や学校の安全管理体制について助言することで、効果的に取組の充実が図られている。</p>

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>学校では、より実践的な訓練や体制整備に取り組んでいるものの、児童生徒が防災・防犯意識を高めていくためには、継続的な取組が必要となる。そのため、専門的知見をもった指導者による継続指導が不可欠となっている。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>学校安全の根幹に位置付く事業であり、県負担で継続していくことは妥当である。また、学校で行っている防災・防犯・交通安全に対する取組を継続的に支援できるよう、より多くの学校に事業の周知を図る。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	